

清新誌



Handsome

Spring 2025 No.417

巻頭記事

次年度会長決定！

1月OB交流会開催 1月OB交流会を終えて／厄落としの会
臨時総会・2月例会開催 2月例会を終えて／卒会予定者より
トリアスロン実行委員長・部長決定！
結婚おめでとう／新入会員／編集後記

◆発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 永井 拓未 ◆編集責任者:担当副会長 高岩 雄一 ◆制作・編集:第50期中央会発信委員会 委員長 新井 翔太

次年度会長決定！



住 真介 次年度会長プロフィール

- 【所属企業】 住法律事務所代表弁護士
- 【入会年度】 平成25年6月(平成24年度)
- 【中央会経歴】 平成27年度副委員長・令和元年度委員長
令和2年度県出向理事・令和3年度専務理事兼会計担当理事
令和5年度副会長・令和6年度監事

この度鳥取県西部中小企業青年中央会第51期会長にご承認いただきました住真介と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

会長のお声をかけていただき、重責を痛感して戸惑うこともございましたが、役員会、臨時総会において会員の皆様から大きな声で「異議なし」と言っていただき、勇気づけられました。感謝申し上げます。

私は当会に第38期に入会し、約12年在籍しております。これまでお世話になりましたOB会員の皆様や関係各機関の皆様、そして共に今も活動している会員の皆様への恩返し気持で、全身全霊をかけて会長職を務める所存です。

当会は昨年50周年を迎え、50年から先の1歩を歩もうとしています。綱領の英知・友愛・団結、そして当会の根幹にあります青年としての「自由な発想と大胆な行動」との精神、魂は引き続き持ち続け、さらに今後も当会がしっかりと歩み進められるよう舵を取りたいと思います。また当会の今後の発展・持続のため、会員拡大にこれまで以上に力を入れたいと考えております。

第51期、会員全員が、中央会、仕事、家族のすべて全力で頑張ります。皆様方におかれましては引き続きご協力の程よろしくお願い申し上げます。

先輩OBよりのお祝いと激励

第45期会長 山口 尚文 (山進運輸株式会社 代表取締役社長)

次年度会長に承認された一報を受け、中央会で一緒に活動していた仲間として大変よろこんでおります。中央会も創立50周年を迎えて新たな一歩を踏み出したタイミングで、弁護士という職業を生業としている住次年度会長が創り上げる一年間は、会にとって特別なスパイスとなるはず。会員の減少が様々な面で影響を及ぼし、苦勞をしているという話は、あらゆる場面で耳にしております。答えのない課題に住次年度会長が会員の皆さんと、どのように判断し、立ち向かうのかOB会員の一人として期待するとともに応援しております。頑張れ！

第47期会長 奥森 秀夫 (新和産業株式会社 常務取締役)

住次年度会長！第51期会長、承認おめでとうございます。いよいよ、きましたかー。あなたとは濃い〜、長〜い付き合いになりますね。委員長と副委員長・会長と専務という関係を築き、いつも私の一番の味方でいてくれました。近くでお手伝いをし恩返しできないことが非常に悔やまれますが陰ながらしっかり応援していますよ。中央会は面白いもので毎期、綱領のもと活動していますが会長によって会の色が変化していくものだと感じています。会長という大役に呑まれることなく、会員に対して誰よりも目配り、気配り、心配りで会員の為になる一年にしてください。あなたならできる！思いっきりやっつれ!!

1月OB交流会開催

令和7年1月15日、ANAクラウンプラザホテル米子にて、第50期鳥取県西部中小企業青年中央会1月例会が開催された。OB会員56名をお招きし、そこに現役会員50名を加えた計106名の参加者となった。今回は例年とは違い、OB交流会という形で開催された。冒頭、永井会長が挨拶を述べられた。続いて1月入会の井上会員、上籾会員へのバッジ授与が行われ、2人から入会にあたっての抱負が力強く語られた。その後、福田OB会長より乾杯のご挨拶を頂き交流会がスタートした。歓談中は現役会員、OB会員で名刺交換をしながら言葉を交わす事で、繋がりを再認識し交流を深めていった。足立県会長の挨拶の後、毎年恒例の新入会員アトラクション、今年は「エッサッサ」が披露された。息の合った掛け声と動きで会場は大盛り上がりとなり、歓声と拍手が飛び



交った。その後、新入会員それぞれが自己PRとして中央会への熱い想いを語った。続いて第50期役員紹介では役員が登壇し、OB会員へ向けて挨拶を行った。役員紹介の後はOB、現役交流アトラクションとして中央会クイズが出題され、各テーブルでOBと現役が相談し合う姿が見られ、まさに「OB交流会」といった和やかな雰囲気に包まれた。しばらくの歓談の後、浜田OB副会長より中締めのご挨拶を頂き、盛況のうちに閉会した。

(記事：宮本)

1月OB交流会を終えて

総務委員会 委員長 山根 壮 (株式会社ヤマネ産機 常務取締役)

1月15日に開催いたしました1月OB交流会では多くの皆様にご出席いただき開催できたこと、お礼申し上げます。一番の目的であった、OB会員の皆様に現役会員のことを知ってもらい笑顔で交流することを体現でき、有意義な時間だったと思います。反省点も多々ありましたが、50期後半これからの事業に向けて繋げていきたいと思ひます。皆様ご協力ありがとうございました。50期総務委員会最後まで頑張ります!



厄落としの会



令和7年1月11日(土)、本年度の厄年対象者である男性(昭和58年・59年・60年生まれ)、女性(平成2年・元年・昭和63年生まれ)の会員が、米子市の勝田神社にて厄落としのご祈禱を受けました。当日は天候にも恵まれ、神社に差し込む光が神々しく、厳かな雰囲気の中で厄払いが執り行われました。参拝後は大連にて懇親会を盛大に開催。神主様よりいただいたお神酒を厄年メンバーを中心にしっかりと飲み干し、厄払いの完了を実感しました。



新たな一年のスタートです。厄も落ち、心機一転! 脂ののった我々世代、中央会の活動にも一層尽力して参ります!

県出向専務理事 大江 史紀

(株式会社島津組 LIXIL 不動産ショップ島津組 部長)



臨時総会・2月例会開催

『地方創生

～新幹線整備による経済的発展～』

令和7年2月14日、政治行政委員会担当により、2月例会がANA クラウンプラザホテル米子にて開催された。

冒頭の永井会長挨拶では、例会のテーマである山陰・伯備新幹線に触れられた後、新入会員である株式会社ミネプラス所属の國吉和博会員に対してバッジ授与が行われ、國吉会員からは「地域に貢献していきたい」と抱負が述べられた。



続いて、臨時総会が開催され、第51期の会長として、住真介会員が推薦され、満場一致で可決承認された。委員長タイムでは、ビジネス経営委員会の田本委員長から、自身の経歴、所属企業である山陰酸素工業株式会社の設立経緯、事業内容に触れられ、さらに新居とおススメの乾燥機である「乾太くん」の紹介をされた。



例会では、第1部として内閣官房参与を務めたことのある京都大学の藤井聡教授をお招きし、山陰・伯備新幹線が実現した場合の経済効果、シミュレーション等々について熱く講演いただいた。

第2部では、衆議院議員であり石破内閣の経済再生担当大臣である赤澤亮正氏にビデオ出演いただき、「今後の地方創生の取り組み」についてお話しいただいた。

続く第3部では、パネリストに藤井聡教授を迎え、伯備新幹線の実現可能性や障害、誘致活動、採算性等についてご回答いただくとともに、会場参加者からの質問にも丁寧にご回答いただいた。

山陰・伯備新幹線が実現した場合の経済効果や人口増等について知れば知るほど、新幹線の少しでも早い実現のために何をすべきか考えさせられる良い例会となった。

最後に安達副会長から総評があり、本事業は当会会員の心に誘致の炎を灯す中閉幕となった。

(記事：小原)



2月例会を終えて

政治行政委員会 委員長 高田 典宗 (有限会社高田 管理部長)

今回の例会では国や政治の力がなければ成し得ないテーマを取り扱いたいと思い、京都大学の藤井聡教授をお招きして山陰・伯備新幹線の整備についてご講演いただきました。「新幹線があればいいのに、あれば使うのに」という方がほとんどだと思いますが、本例会を通して新幹線のファンになってもらい、「ぜひ整備してほしい」と新幹線を熱望する方が一人でも多く増えてくれたら良いなと思います。委員会メンバーの皆さん、ご参加いただいた会員の皆さん、そして例会の補助金を交付いただいた団体中央会の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました!

卒会予定者より『澆刺と未来』



令和元年5月入会 高見 秀幸 (株式会社さんれいフーズ 副参事)

第44期秋里会長年度の5月に入会し、デビュー戦は大山お地藏さまフェスティバルでした。新入会員バッジ授与を前に、お地藏さまTシャツの上にジャケットを羽織り待機していると、当時の山口尚文次年度会長から「ジャケットのボタンとめて」と中央会精神を注入していただいたことを今でも強烈に覚えています。初めて所属した委員会 は山内正樹委員長率いる地域ビジョン委員会でした。この期に最優秀委員会を獲得した委員会でした。有終の美を飾った6月例会後の三次会では今まで生きてきた中で一番酔いがさめました。約5年間の中央会生活で得た宝物は出会いです。特に同じ時期に入会し一緒に新入会員アトラクションをした会員たちとはとても濃い時間を共有させていただきました。また、副委員長、委員長を経験した後の県出向理事としての経験はとても心に残っています。その中でも東部の谷口会員との出会いは一生の宝物です。最後になりますが中央会に参加させてくださったさんれいフーズ、家族、そして同じ時間を過ごさせていただいた皆様へ感謝申し上げます。



委員長を務められた第48期政治行政委員会



平成27年7月入会 梅原 雅明 (株式会社米子マツダ 本社営業所 次長)

第41期入会の梅原雅明です。約10年前に入会した時には、卒会者の皆様方はすべて重鎮のオーラを纏っており、「自分もこのように成長して、卒会していくのだなあ」と思っておりました。が、見事なまでに小粒のまま卒会を迎える事をとて嬉しく笑えます。最初に配属された委員会、地域活性委員会第1回目のお地藏様事業に末席で携わらせて頂き、諸先輩方の何もお役に立てず情けない気持ちになった事を憶えています。今ではお役に立てなくても特に動じない面の皮を手に入れた事、複雑な気持ちでいっぱいです。中央会生活の途中から、諸事情により中々参加出来ず、皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。そんな中、顔を出せた時には皆様に温かく迎えて頂き、本当に感謝しております。中央会生活も残りわずか、まだご挨拶出来ない会員の方々にも失礼しております。卒会まで、少しでも皆様と交流を深めさせて頂ければ幸いです!



地域活性委員会でご活躍された第1回目のお地藏さまフェスティバル

トライアスロン実行委員長・部長決定!

実行委員長
安達 信彦



令和7年7月20日(日)に開催予定の第43回全日本トライアスロン皆生大会における当会トライアスロン実行委員長を拝命しました安達です。別記事にあります通り結婚早々ではございますが、一生懸命努めてまいります。

今大会では大会参加者数の確保、高齢化、猛暑による競技力低下等によるリタイア選手の救済等を目的として、セミロングコースの導入が予定されています。コースレイアウトは前回大会と同様ですが、セミロングコースではバイクコースの一部区間カットやランコースの和田浜展望給水所での折り返しにより総距離の短縮が図られます。このセミロングコースに伴いAS運営時間の変更やオペレーションの変更が生じます。各部の運営方法もこの変更に合わせて変えていく必要があります。

また、当会においては今大会より共催へと立場が変わります。これまでの先輩方の皆生トライアスロンへの関わりに敬意を示し、会員一丸となり役目を果たせるように一層のお力添えをお願い致します。

ボランティア部長 松田 順次

この度、第43回全日本トライアスロン皆生大会のボランティア部の部長を拝命致しました松田です。今年で3年連続のボランティア部長となりますが、参加される選手、ボランティアの方のためにもボランティア部メンバーと協力して準備をしていきたいと思ひます。また、しっかりとボランティア部長の仕事を引き継ぎつつ、マラソン部長、AS部長ともしっかりと連携を取り、オール中央会で大会を盛り上げて行きたいと思ひます。宜しくお願い致します。



マラソン部長 山内 正樹

第43回全日本トライアスロン皆生大会のマラソン部長を務めます山内です。過去のマラソン部長が引き継いでこられた伝統でもあります「やるときはやる!楽しむときは思い切り楽しむ!」を信条に運営してまいります。また次代のマラソン部を背負っていただけるメンバーの育成にも力を入れていきます。近年マラソン部は少数精鋭の部となっていますので、人員が必要な作業の際にはご協力いただきますようお願い致します。



AS部長 仲佐 大志

第43回全日本トライアスロン皆生大会のAS部長を拝命しました仲佐です。形式上今期で3回目の部長となります。大会自体も色々変わる部分がありますので今までの経験を活かして柔軟に対応できる様にして行きたいと思ひます。各部とも協力して大会を成功に導ける様に精一杯努めてまいりますので宜しくお願い致します。



安達副会長 ご結婚♡おめでとようございませう



今年、入会9年目にして45歳を迎える安達です。この歳まで結婚する気配がなく、多くの方にご心配をお掛けしましたが、昨年12月26日に無事入籍することが出来ました。委員会、役員会、OB交流例会等々事あるごとにお祝いの場を設けて頂き、大変嬉しく思ひます。この度の縁も青年中央会あってのご縁でした。青年中央会に入会すると様々な良縁に巡りあえると伝えられるように、卒会までの残り一年半も精一杯活動してまいりますので、引き続き宜しくお願い致します。



編集後記

私が15歳まで育った富山県では、私が離れた頃から新幹線開通に向けた動きが本格化し、その後、町は劇的に活気づきました。米子に来て25年、その月日があつという間だったことを思うと、伯備新幹線開通も決して遠い未来ではないと感じます。
(大江 史紀)

新入会員紹介

(ビジネス経営委員会)

井上 裕 介 B型
Favourite's 株式会社 営業課長
カーディテリング (カーコーティング業)
〒683-0047 鳥取県米子市祇園町2丁目220-1
TEL: 0859-21-8608 FAX: 0859-21-8609
(KT) 090-1338-8191
(EM) nej150105@gmail.com

R07.01 (R06年度) 入会
(推薦者) 長谷川(恵) 徳中(太)

H8.7 生

〈コメント〉28歳の私と会社も設立してからまだ新しく、右も左もわからない状態ですが、第一線で働かれている皆様と交流を深めて、様々な事を学び、地域貢献が出来ればと思ひます。

(政治行政委員会)

上 敷 拓 也 O型
MUSUBI ぐるーぷ株式会社 代表取締役
飲食業
〒683-0053 鳥取県米子市明治町196番地
TEL: 0859-21-5645
(KT) 090-1968-8906
(EM) takuyan1179@gmail.com

R07.01 (R06年度) 入会
(推薦者) 徳中(太) 高井(賢)

H3.7 生

〈コメント〉自身の成長を志し、様々な業種の方と携わらせて頂き、地域貢献・経済発展の力に少しでもお役にたてればと思ひます。

(政治行政委員会)

國 吉 和 博 AB型
株式会社ミネプラス
不動産業
〒689-3542 鳥取県米子市今在家31-2
TEL: 0859-30-3788 FAX: 0859-30-3789
(KT) 070-1875-4607
(EM) kuniyoshi@mine-plus.jp

R07.02 (R06年度) 入会
(推薦者) 高田(典) 大谷(健)

H2.4 生

〈コメント〉不動産業に従事し、土地活用で地域活性を目指します。皆様との交流を通じ、新たな価値を生み出せれば幸いです。よろしくお願ひいたします。